鶴田町鶴田の庚申塔

【所　在　地】薩摩郡さつま町鶴田 3830
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 50 年３月 31 日

碑高 130cm，幅 67cm の角五輪塔で，塔の大きさとしては中形であるが，古塔特有の厚みと重量感があり，整った塔婆である。製作年代は天文３（1534）年小春（10 月）に 26 人の修験僧らによって造立されており，本県の庚申塔のうちで３番目に古く，中世庚申塔の代表的なものである。また五輪庚申塔は極めて珍しく，その塔姿は特殊で，庚申塔文化を考える上から重要である。

特に庚申の別称とされる「上章涒灘」の刻字は貴重である。